

牛白血病

・牛白血病とは

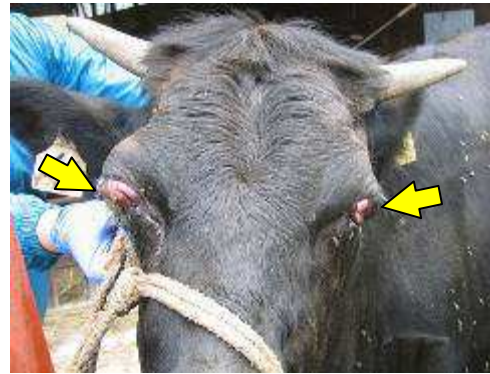
牛白血病は家畜伝染病予防法で届出伝染病に指定されている疾病の1つであり、血液成分のリンパ系細胞が異常増殖することによって起こる悪性腫瘍性の疾病です。その多くは牛白血病ウイルス(BLV)に感染することが原因となりますが、感染しても発症までに時間がかかるため、知らないうちに農場内に広がる可能性があります。BLVに感染しているかどうかは、抗原(ウイルス)や抗体の検査をすることでわかります。また、本病に対する有効なワクチンや治療法はないので、BLVの感染予防対策がとても重要となります。

・症 状

3歳以上の成牛に好発し、体表リンパ節の腫大、骨盤腔内の腫瘤、眼球突出、消瘦、乳量減少等がみられ、発症から数週間～数ヶ月で致死的な経過をとります。



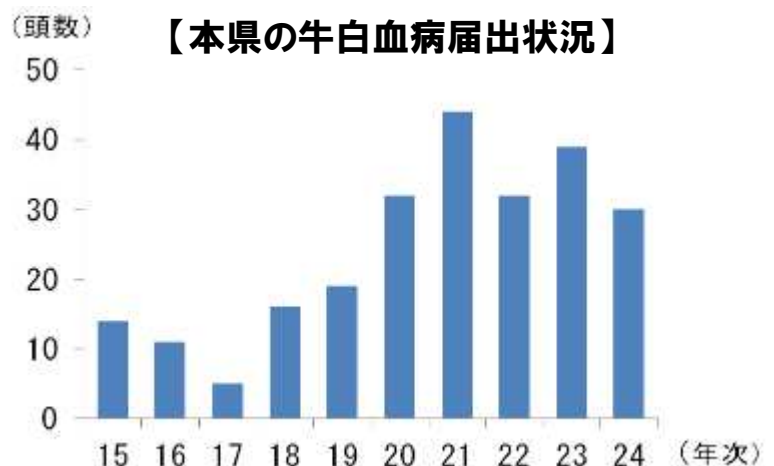
体表リンパ節の腫大



眼球の突出

・県内の届出状況

県内では本病が近年増加傾向にあり、その多くがと畜場で摘発されています。と畜場で摘発された場合、その牛は全部廃棄となることから、経済的に大きな損失となります。なお、全国的には届出数が増加しており、H24年次には2000頭を超えています。



・感染経路

感染経路は2つあります。1つは同居しているBLV感染牛の血液や体液(唾液・鼻汁など)を介する水平伝播、もう1つはBLV感染母牛の乳汁を介する感染や胎盤・産道から子牛へと感染する垂直伝播です。

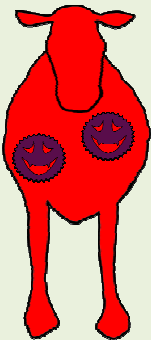
血液を介した経路が特に感染リスクが高く、感染牛の血液が微量(1 ^{マイクロリットル}μl 以下)でも体内に入れば感染が成立するといわれています。

【水平伝播】

血液を介して

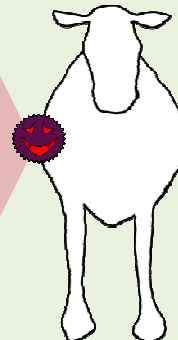
- ・吸血昆虫の吸血 (アブ、サシバエ)
- ・注射器の使いまわし
- ・直腸検査用手袋の使いまわし
- ・出血を伴う除角・去勢などで使う器具の使いまわし

感染牛

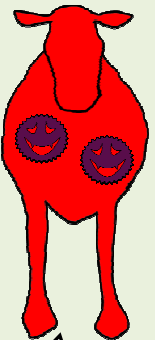


 : 牛白血病ウイルス(BLV)

非感染牛



感染牛



新たな
感染源に!

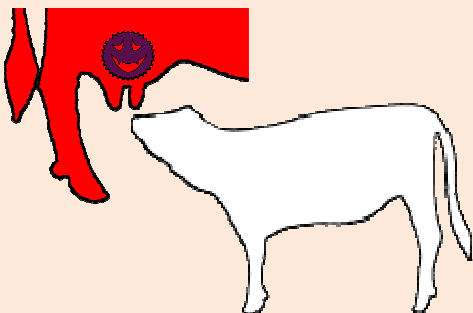
体液を介して

- ・近接する感染牛との接触・飛沫



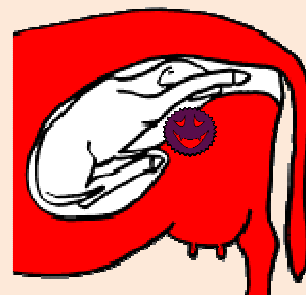
【垂直伝播】

乳汁を介して



感染牛由来の乳を飲んだ子牛の 6-16% が感染する。(米国のデータ)

子宮内・産道



感染牛から生まれる子牛の4%程度が 子宮内・産道で感染する。(米国のデータ)

・対策

【人為的な感染の防止】

直腸検査用手袋は1頭につき1枚使用する。

注射針は1頭1針使用する。

出血を伴う除角、削蹄、断尾、去勢などに使用した器具の消毒を徹底する。

【吸血昆虫の防除】

・牛への対策

1)忌避剤付きイヤータグ



2)外部寄生虫駆除剤の塗布・散布



・牛舎での対策

防虫ネットの設置

殺虫剤を染み込ませたのれんの設置

・放牧場での対策

アトラップ(アブ捕獲装置)



【適切な初乳給与】

感染牛の初乳やプール初乳を与える場合は、60℃

30分、加温処理してウイルスを失活させる。

市販の初乳製剤を利用する。



市販の初乳製剤

【牛舎の洗浄・消毒】

分娩房は血液・体液で汚れやすいのでこまめに清掃する。

牛舎の隅、ウォーターカップの下、敷き料の下層部分など、糞が蓄積しやすい場所はサシバエの発生源となるので注意する。

【計画的な感染牛の淘汰】

年齢、生産性、受胎率などを考慮した上で、感染牛は優先的に淘汰を進める。

上記の対策を組み合わせて行うことが、本病のまん延防止に有効です！

お問い合わせ先

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所

TEL:0176-23-6235 FAX:0176-23-3044

URL: <http://www.applenet.jp/~towada-kaho/>